

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造。2050年以降のカーボンニュートラル時代を見据え、2030年を中間点として取り組む。

連結売上高
2,000億円

連結営業利益
160億円

連結有利子負債
500億円台

自己資本比率
50%超

② 中長期の経営戦略

1. 総合エネルギーサービス事業の進化

天然ガスの普及拡大、LNGバンカリング供給、エネルギーマネジメントシステム「EMINEL」の標準化、ガススマートメーター本格導入を推進。

3. デジタル技術による事業構造変革

情報プラットフォーム「Xzilla」の最大活用、会員制WEBサイト「TagTag」リニューアルによる双方向コミュニケーション深化で事業構造を変革。

2. カーボンニュートラルへの挑戦

再生可能エネルギー電源開発加速、地域連携によるクレジット創出・活用、メタネーション等の次世代技術実証に取り組む。

4. 人的資本投資の拡充

人事処遇制度整備、多様な人材採用、女性職域拡大、DX人材育成プログラム、キャリア支援等を推進。

③ 対処すべき課題

① カーボンニュートラル化への対応

- ・天然ガスの重要性が第7次エネルギー基本計画で位置付けられる中、脱炭素社会への備えが必要。
- ・2050年カーボンニュートラル実現に向け、次世代技術実証を加速する必要がある。

② デジタル化と事業基盤強化

- ・Xzillaなどデジタルプラットフォームを活用し、労働集約型業務から高付加価値事業への転換が急務。
- ・省エネの定量化と価値化により、量の拡大に依存しない経営モデルへの転換が必要。

③ 事業環境の予測不可能性への対応

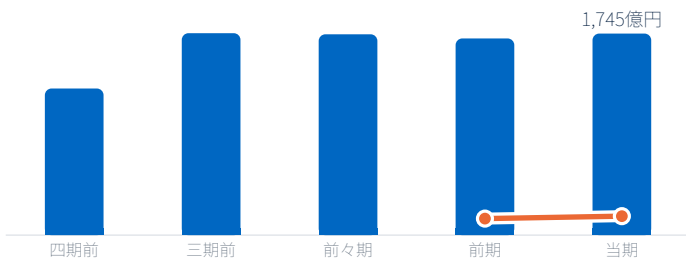
- ・地政学的リスク長期化、米国の政策動向など事業環境が不確実な状況が継続。
- ・DX活用により日常の中に備えを作り込み、意思決定の迅速化基盤を構築する必要がある。

面接で使えるポイント

- ・Challenge2030で2030年を中間点として、2050年カーボンニュートラル実現に向けた北海道全域での取り組みを…
- ・Xzilla等デジタルプラットフォームを活用し、ビッグデータ分析による事業構造の抜本的変革を進めている。
- ・苫小牧地区でのLNG基地新設検討やメタネーション実証参画など、次世代エネルギー基盤構築に投資している。

証券コード 9534

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,745億円営業利益率
9.4%財務健康度
45点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 54.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
760万円

電気・ガス業内 20位/28社

平均年齢
40.6歳

電気・ガス業内 26位/28社

平均勤続
18.7年

電気・ガス業内 13位/28社

女性管理職
1.6%

電気・ガス業内 23位/23社

男性育休
90.0%

電気・ガス業内 12位/20社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

